

《担当者名》 橋本竜作 hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp 近藤里美

【概要】

心理学は行動を指標として「こころ（内的過程）」の理解に向けて科学的に研究を行う学問分野であり、学習心理学、認知心理学、発達心理学、生理心理学等の基礎的な分野から臨床心理学といった応用分野まで含まれます。本講義はリハビリテーションの実践に必要とされる心理学の基礎および応用分野におけるトピックを調べ、それについてディスカッションを通して理解を深めます。

【学修目標】

一般目標：リハビリテーションの実践に必要とされる心理学の基礎および応用分野について理解する。
 行動目標：1. 各テーマ(学習心理学、認知心理学、発達心理学、神経・生理心理学)における知見がリハビリテーションにおいてどのように応用されているかについて説明できる。2. 様々な心理学の基本理念を理解し心理的問題に対するアプローチについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	橋本竜作
2・3	学習心理学	三項随伴性をもとに行動を理解する。	橋本竜作
4～6	認知心理学	情報処理をもとに行動を理解する。	橋本竜作
7・8	発達心理学	加齢変化をもとに行動を理解する。	橋本竜作
9～11	神経・生理心理学	大脳損傷をもとに行動を理解する。	橋本竜作
12	臨床心理学 1	分析心理学基本理念と心理的問題のアプローチを理解する。	近藤里美
13・14	臨床心理学 2	認知行動心理学、パーソン・センタード心理学などの基本的理念と心理的問題へのアプローチを理解する。	近藤里美
15	臨床心理学 3	個人心理学、ポジティブ心理学などの基本的理念と心理的問題へのアプローチを理解する。	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

橋本：提出された課題レポートによって評価（65%） 近藤：（35%）

【参考書】

Current Psychotherapies Brooks/Cole Pub 2013
 臨床心理学：全体的存在として人間を理解する ミネルヴァ書房 2009
 ヒルガードの心理学 第16版 金剛出版 2015

【備考】

本講義は変則開講となるため、開講日程をよく確認して受講して下さい。

【学修の準備】

予習はテーマに関連した資料を各自調査し学習すること（80分）復習はプリント、講義メモを活用して学習を深めること（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

橋本竜作（臨床発達心理士、公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や児童福祉施設での実務経験を活かし、専門職業人として必要とされる基礎的心理学の知識が臨床場面でどのように利用されているのかについて講義をする。